

# 世羅町立甲山中学校区 実践報告

---

## 【研究推進地域 研究主題】

地域の未来を見つめ、探究的に学習する児童生徒の育成

— P B A による生活科及び総合的な学習の時間の単元開発を通して —

甲山中学校区研究推進地域  
研究推進リーダー 津森 佑平

# 発表の流れ

---

1. 本校区の研究の方向性

2. 本質的な問い及び校区で育成したい資質・能力

3. ルーブリックの開発

4. 開発単元と実践事例

①甲山小学校    ②せらひがし小学校    ③甲山中学校

5. 成果と課題

# 甲山中学校区 研究推進方針

本質的な問い「世羅をもっと**元気**にするためには？」

校区で育成したい資質・能力①  
【 自発性 】

- ・自ら課題を見いだそうとする
- ・自ら学習の進捗管理をする
- ・粘り強く取り組み、やりとげる
- ・自ら学びの機会を広げ、チャレンジする

校区で育成したい資質・能力②  
【 コミュニケーション能力 】

- ・伝える能力
- ・受け取る能力
- ・非言語コミュニケーション能力

P B Lの視点による  
単元開発

- 答えのない問い
- 実生活・実社会の課題
- 社会へ還元する

資質・能力の育成

- 協働的な学習活動
- ICTの効果的な活用
- ルーブリックによる自己評価・外部評価

習得

小学校低学年

地域を知る

活用

小学校高学年

地域に発信・提案する

探究

中学校

自ら地域に関わり、提案参加・貢献する

世羅町の発展に努める！

世羅町に貢献する！

「持続可能な社会の形成者」として地域社会で活躍する人材の育成

# 「本質的な問い」の設定

## 本質的な問い「世羅をもっと**元気**にするためには？」

### 児童生徒の学習環境

#### ①地域の実態

- ・世羅町の強み（豊かな自然，長い歴史など）
- ・世羅町の弱み（人口減少，少子高齢化など）

#### ②教材となる豊富な地域資源

- ・道の駅せら      ・観光農園
- ・大妻コタカ女史      ・今高野山 など

#### ③地域に根差したこれまでの教育活動

- ・花いっぱい運動，クリーン大作戦
- ・せらゆめトライアル・ウィーク など

### 教師の願い

「児童生徒の柔軟な発想で世羅町をもっと元気にしてほしい！」



# 校区で育成したい資質・能力の設定



## 甲山中学校

主体性

思考力・表現力

貢献力



## 甲山小学校

表現力

主体性

自信



## せらひがし小学校

表現力

主体性・協働性

自己理解

共通の課題 「主体性」 「表現力」 を基に設定

# 校区で育成したい資質・能力の設定

## 自発性

- ・自ら課題を見いだそうとする
- ・自ら学習の進捗管理をする
- ・粘り強く取り組み，やりとげる
- ・自ら学びの機会を広げ，チャレンジする



### 「主体性」

自主性

自立性

自発性

積極性

自律性

Pick up!

## コミュニケーション能力

- ・伝える能力
- ・受け取る能力
- ・非言語コミュニケーション能力

### 「表現力」についての3校の課題

声の大きさ

聞く力

自己表現

リアクション

対人スキルに課題



より具体的なイメージを児童生徒と教師が共有する

# ルーブリックの開発

自発性	S	A	B	C
自ら課題を見つけて、チャレンジする力	授業時間外にまで学びの機会を広げようとしている。	新たな課題を見出し、チャレンジしようとしている。	自分から学習の進み具合を考え、適切な課題を見いだそうとしている。	自分から適切な課題を見いだそうとしていない。
自ら学習の進捗管理をする力	根拠をもとに学習計画を立て、より効果的・効率的に学習を進めようとしている。	ゴールをイメージして学習計画を立て、見直しをしながら活動しようとしている。	ゴールをイメージして学習計画を立て、活動しようとしている。	自分で学習計画を立てて活動しようとしていない。



全職員・児童生徒が  
目指す姿を共有する

短く、簡潔に、わかりやすく！

# 小学校と中学校の系統性

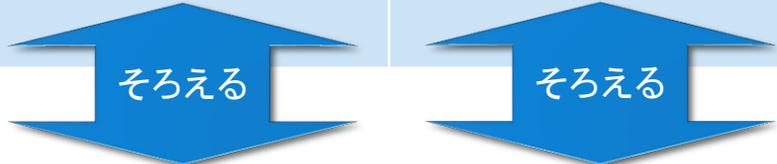
## 中学校の指標

コミュニケーション能力	S	A	B	C
伝える能力	相手の表情や反応を踏まえたうえで、その場にあった伝え方ができる。	相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。	自分の意見を、根拠をもとに説明することができる。	自分の意見を説明することができない。



## 小学校の指標

コミュニケーション能力	S	A	B	C
伝える能力	相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。	自分の意見を、根拠をもとに説明することができる。	自分の意見を、伝えることができる。	自分の意見を伝えることができない。



小学校の2校で内容を揃える

実践事例① 甲山小学校 第1学年「生活科」

地域を知る

# わくわく学校紹介プロジェクト！

【単元を貫く問い】 この1年間で成長したことを伝えるには、どうすればいいだろう。

課題設定

【個別の問い】  
1年前の自分たちはどんな気持ちだったのだろう。 など

情報収集

【個別の問い】  
新1年生にどんなことを伝えたらいいかな。 など

なんのきょうがあるか  
どきどき しゅんや

ちがう子どもえんの子とあそべれるかな。 なかよくできるかな さや

ちがう子どもえんのかどきどき しゅんや

ひらがながきれいにかけるかどきどきした はるま

なんて名まえのせん生かな さや

せん生がたれがくるかどきどきする ななみ

ドキドキ

わくわく

かん字をかきかたのしそつだった さや

せん生がたれかたのしみ しゅんや

せん生といっしょにあそべれるかな さや

どんなせん生なんだろう ももこ

ともだちいっぱいできるかな ももこ

じをかくのたのしみ ななみ

入学前の楽しみな気持ちと不安な気持ちをJamboardで共有しました。



各グループで紹介する内容や役割を決めて、写真や動画を撮りました。

## 実践事例① 甲山小学校 第1学年「生活科」

地域を知る

# わくわく学校紹介プロジェクト！

【単元を貫く問い】 この1年間で成長したことを伝えるには、どうすればいいだろう。

### 整理 分析

#### 【個別の問い】

どうやったらもっと分かりやすくなるかな。 など

### まとめ 表現

#### 【個別の問い】

わくわく学校紹介プロジェクトのよかったところと、もっとこうすればよかったことを振り返ろう。 など



Googleスライドにまとめながら、原稿の内容にあった写真になっているか、発表は長すぎないかを考えました。



今後、入学予定の園児に発表する。  
成長したことを保護者にも伝えていく活動を行う。  
自分の成長や今後の学校生活への希望を振り返りに書く。



# 実践事例② せらひがし小学校 第5学年「総合的な学習の時間」

地域に発信・提案する

## せらひがしの産業伝え隊プロジェクト

【単元を貫く問い】 せらひがし小学校区の産業の魅力を伝えるにはどうしたらいいだろう？

整理  
分析

【個別の問い】  
より多くの人に、せらひがし小学校区の産業に興味を持ってもらうためにはどのような工夫が必要だろう。 など

まとめ  
表現

【個別の問い】  
産業の魅力が伝わったかどうかまとめよう。 など

高校生とGoogle Meetで繋がりが、アドバイスをもらって、改善策を見つけました。



【作成→アドバイス→再構成】のサイクルを回し、よりレベルの高いPR動画作りのための話し合いのきっかけとなりました。

完成したCMは、今後、道の駅のスタッフ及び来場者に視聴してもらい、自分たちの活動の成果と課題を整理します。また、単元末には、世羅の産業から自己の生き方を見つめ、振り返りを書きます。

# 実践事例③ 甲山中学校 第1学年「総合的な学習の時間」

自ら地域に関わり、提案参加・貢献する

## 交通安全プロジェクト～人の命の大切さを見直そう～

【単元を貫く問い】身近な人の命を守るために、自分たちができる行動は何だろう。

課題設定

【個別の問い】  
身近な人の命を守るために自分たちにできることは何だろう。 など

情報収集

【個別の問い】  
校区の危険な場所はどこだろう。 など



1年A組の活動方針

「横断歩道の旗の制作」をしよう！

①目的(どんな目的とするのか)	小学生が登下校するとき、旗を上上げると背が小さい子供でも車の運転手が子供の存在に気づき事故を少なくする
②対象(誰にするのか)	横断歩道を通る小学生 子供連れの親子 高齢者
③内容(何をやるのか)	横断旗を作り小学生が登下校で通る横断歩道に置く。
④方法(どんな方法とするのか)	



「身近な人の命を守るためにできること」について案を出し合い、活動方針を決定しました。

【活動方針】  
横断旗の作成・設置  
交通マナーの啓発活動

実際に校区を探索したりGoogleEarthを用いたりして危険箇所を洗い出しました。

## 実践事例③ 甲山中学校 第1学年「総合的な学習の時間」

自ら地域に関わり、  
提案参加・貢献する

# 交通安全プロジェクト～人の命の大切さを見直そう～

【単元を貫く問い】身近な人の命を守るために、自分たちができる行動は何だろう。

### 整理 分析

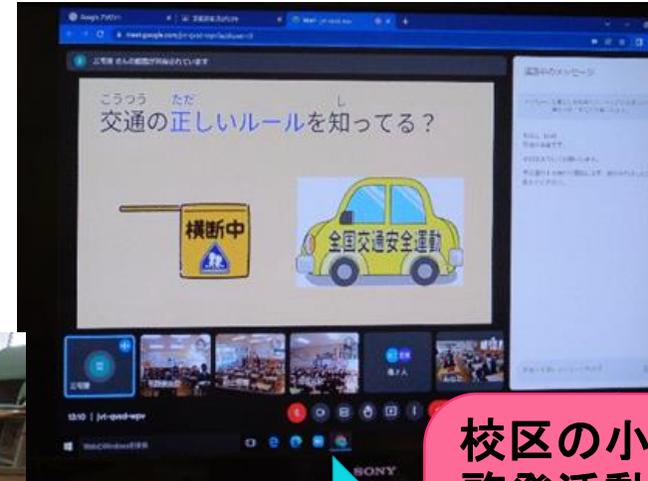
#### 【個別の問い】

具体的な設置方法や交渉の内容はどのようにするか。 など

### まとめ 表現

#### 【個別の問い】

活動の成果を小学生にどう伝えればよいだろう。 など



横断旗やポスターの作成と並行して、警察署や道路管理者等の関係機関と連携を行いました。

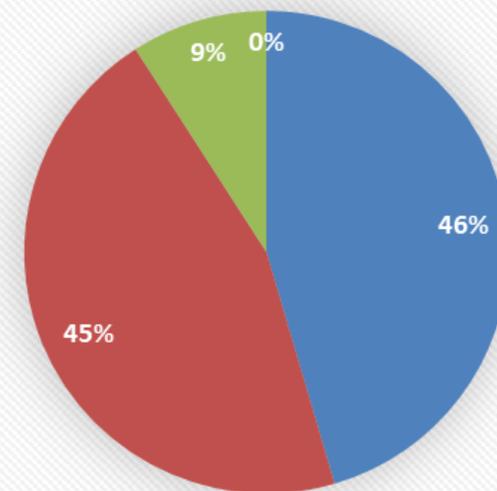


校区の小学生向けにオンラインで啓発活動を行いました。  
今後は、設置許可を得ることができなかった横断旗の活用方法を検討していきます。

## 成果【教員アンケートより】

「総合的な学習の時間」及び「生活科」の授業では、児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

※対象：甲山中学校区の総合的な学習の時間または生活科を担当している職員



■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない

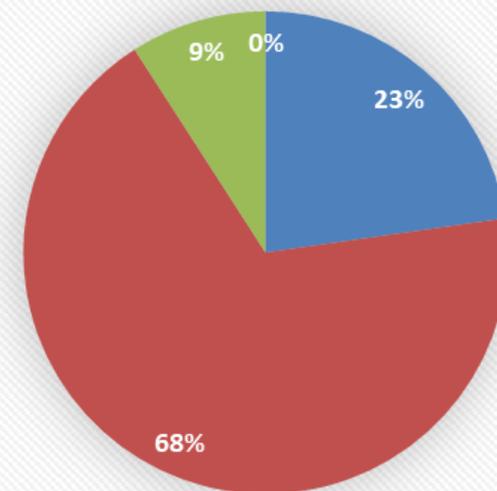
■ 当てはまらない

生活科及び総合的な学習の時間にPBLを取り入れることにより、児童生徒が自分から学習に取り組んでいると感じている教員が多い。

## 課題【教員アンケートより】

「総合的な学習の時間」及び「生活科」の授業では、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか。

※対象：甲山中学校区の総合的な学習の時間または生活科を担当している職員

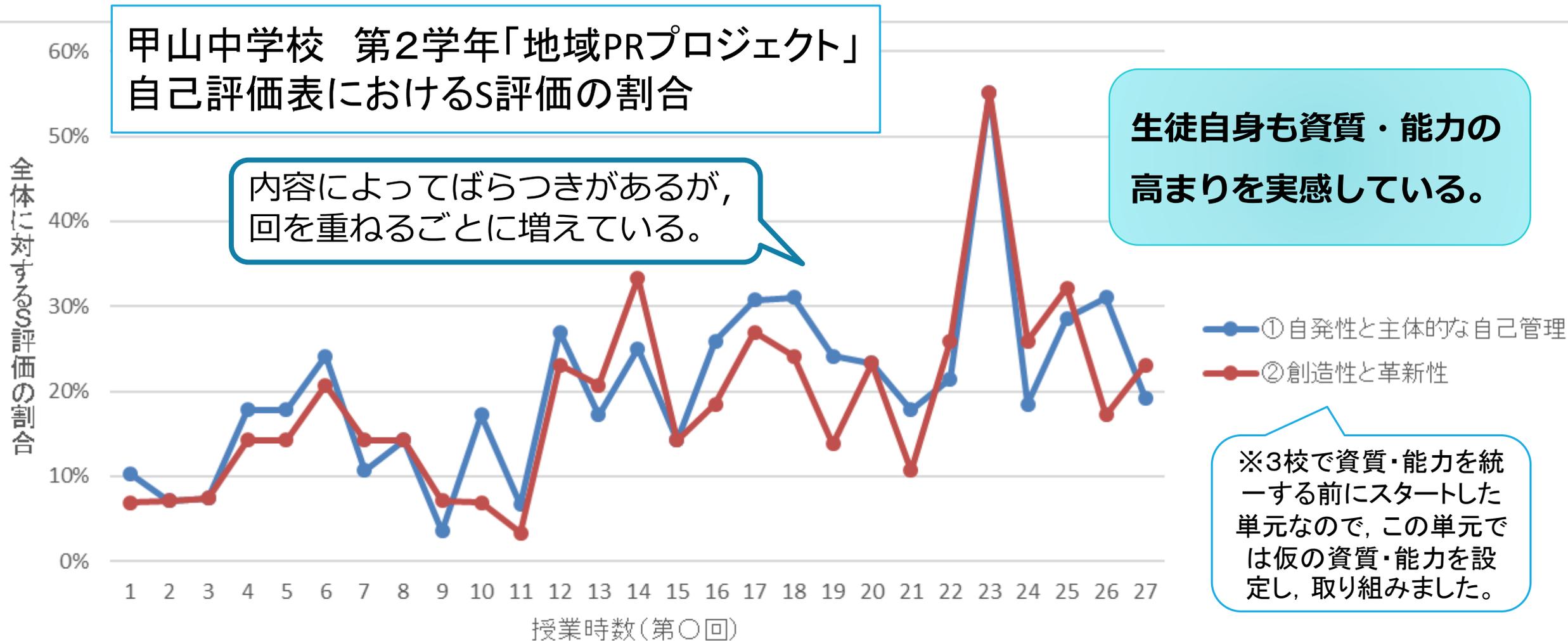


■ 当てはまる  
■ どちらかといえば、当てはまる  
■ どちらかといえば、当てはまらない  
■ 当てはまらない

探究の過程を意識してはいるが、具体的な指導に落とし込めていないのではないか。

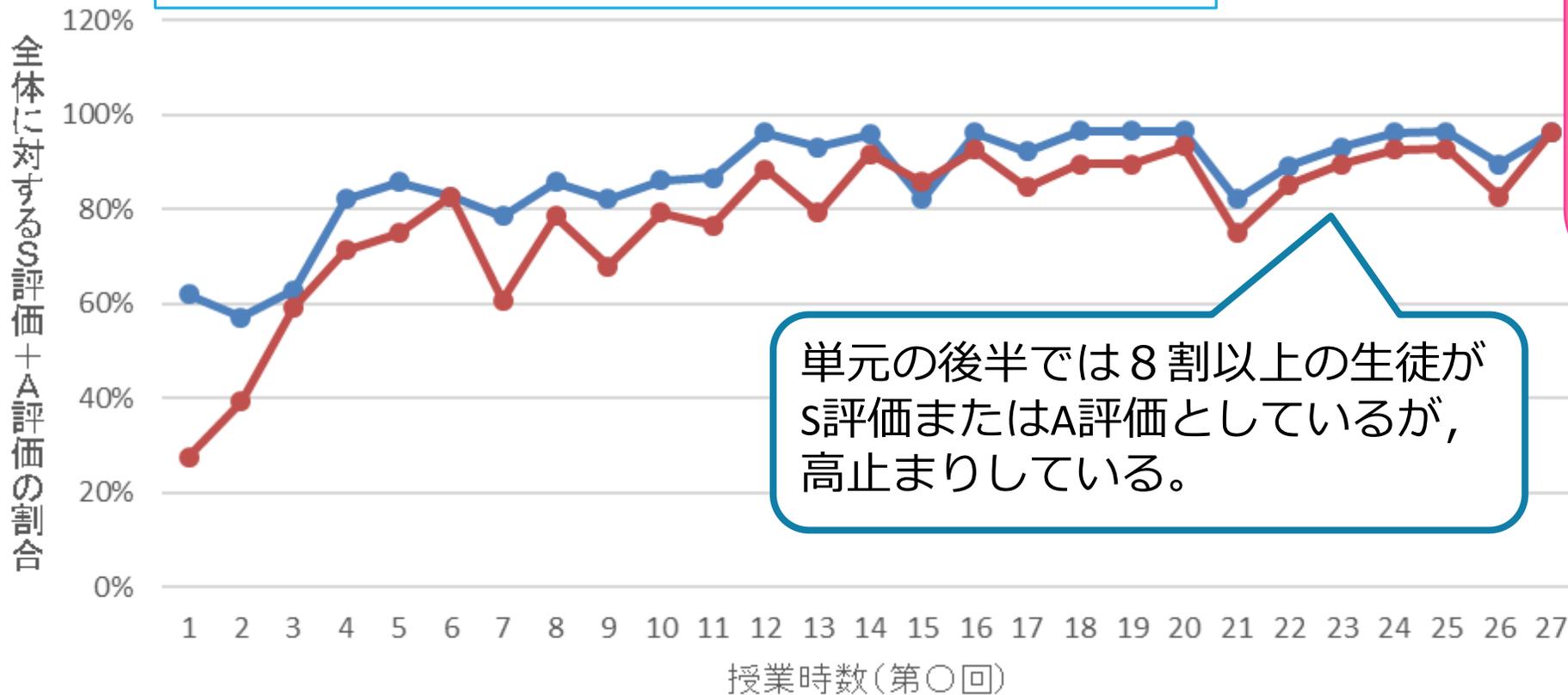
# 成果【児童生徒の自己評価より】

甲山中学校 第2学年「地域PRプロジェクト」  
自己評価表におけるS評価の割合



# 課題【児童生徒の自己評価より】

甲山中学校 第2学年「地域PRプロジェクト」  
自己評価表におけるS評価＋A評価の割合



ルーブリックに示された目指す生徒の姿が、生徒の実態に合っていないのではないか。

単元の後半では8割以上の生徒がS評価またはA評価としているが、高止まりしている。

- ①自発性と主体的な自己管理
- ②創造性と革新性

# 次年度以降に向けて

つくる

みなおす

ひろげる

## 令和3年度

- (1) 育成を目指す資質・能力の設定
- (2) P B Aによる総合的な学習の時間の単元開発
- (3) 資質・能力の評価のためのルーブリックの開発

## 令和4年度

- (1) 設定した資質・能力を柱とする全教育計画の見直し
- (2) 開発単元の改善, 新たな単元開発
- (3) 評価の妥当性の検証, ルーブリックの改善

## 令和5年度

- (1) 研究成果のまとめ, リーフレットの作成
- (2) 各教科におけるP B Lの実践
- (3) 他地域への発信・普及

### 重点項目①

全職員が探究の過程や育てたい資質・能力を意識して、単元を開発・実践できるようにする。

### 重点項目②

ルーブリックの内容について、実践を踏まえ、より児童生徒の実態に合うよう改善する。

# 世羅町立甲山中学校区 実践報告

---

## 【研究推進地域 研究主題】

地域の未来を見つめ、探究的に学習する児童生徒の育成

— P B A による生活科及び総合的な学習の時間の単元開発を通して —

甲山中学校区研究推進地域  
研究推進リーダー 津森 佑平